

学校の詩

令和2年7月発行 学校便り

学校の教育目標

自律貢献

文責:校長 藤井浩彦

◆「ノーチャイムウィーク」の取組

7月13日(月)～17日(金)は、「ノーチャイムウィーク」と位置づけ、自らを律し、考えて行動することができるように、また、周りのことに気を配り行動できるようにするための取組を行っています。そもそも、「時間を守る」ということはとても大切なことです。時間は、すべての人に平等に与えられています。学校での時間は、共有し学びあう大切な時間です。その時間を守るということは、周りのことを考えることにも繋がります。中学生のこの時期だけでなく、これから先も時間を守るということは「信用」に繋がります。逆に時間にルーズだと「信用」を失います。子ども達が自ら、時計を見ながら考えて動く力を身につけてくれたらと思います。最終的にはチャイムが鳴らなくても、子ども達が自主的にきちんと行動できる学校になればと思います。



【時間前に自分たちで着席している様子】

◆部活動の交流試合が始まりました！



【試合前の練習の様子(バスケット部)】

7月11日(土)から、バスケットボール部、サッカー部を皮切りに部活動の交流試合が始まりました。これは、中体連主催の夏の大会が中止になったことを受けて、大野城市内の3年生のために多くの先生方、大野城市教育委員会の方々のご尽力により計画されたものです。それぞれの種目に応じて、できる限りの感染防止対策をとりながら7月中旬に実施をするものです(吹奏楽部については、8月初旬にお別れ演奏会)。制限や制約はありますが、その中で特に3年生が輝いてくれるように祈るばかりです。各部活動の保護者の皆様には多大なるご理解とご協力をいただいていますことに心より感謝いたします。最後までどうぞ、よろしくお願いいたします。

◆令和2年度合唱コンクールは中止となります

先日、保護者の方には文書でお知らせしましたが、令和2年度の合唱コンクールを中止とすることとしました。これまで多くの方々と協議をしまいましたが、会場の様々な制限、また、当日を含めた毎日の合唱練習において十分な感染予防対策ができないために、市内5中学校ともに中止を決定しました。子ども達はもちろんのこと、楽しみにしておられた保護者の皆様、地域の方々にも申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし、子ども達やそのご家族の方々の命と健康を守ることはかえられません。合唱コンクールは中止ですが、例年行っていた子ども達の作品展示及び見学については、方法等を前向きに検討中です。また、吹奏楽部の演奏については、様々な条件を勘案しながら決定し、後日お知らせいたします。どうぞ、ご理解ください。

行事予定[7月～9月]

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
7	20	月	2年生修学旅行説明会	9	8	火	3年生I・BAテスト
	29	水	1年生三者面談[8/5まで]		15	火	選手激励会
	30	木	2・3年生三者面談[8/5まで]		17	木	薬物乱用防止教育
8	6	木	1年生心臓検診		18	金	1・2年生県学力調査
	7	金	1学期終業式		24	木	中間考査
	11	火	学校閉庁日[8/18まで]		25	金	中間考査
	19	水	2学期始業式				
	20	木	課題テスト				

『苦渋の決断』

校長コラム

令和2年度合唱コンクールの中止。本当に残念でなりません。子ども達に歌わせなかった。いや、子ども達に歌ってほしかった。子ども達の歌が聴きたかった・・・

私は、合唱が大好きです。私は学級担任をしていたとき、合唱の取組が始まると毎日毎日合唱曲を聴き、全パートが歌えるように覚え、音楽の授業にも時間があるときには参加をし、子ども達と一緒にたくさん練習しました。一生懸命、取り組めば取り組むほど、クラスでは問題が起こり、そのたびにみんなで考え、話し合いをして改善していきました。当日は子ども達が緊張しながらも、胸を張ってステージに上がり、多くの方が涙するような最高の合唱を披露してくれました。歌い終わり、ステージを降りるときには、達成感とともに自分たちの歌に感動した子ども達が涙を流しているその姿に、私はいつも涙が止まらなくなるのでした。そこまでなれば、賞は関係ありませんでした。「金賞」であれ、「銀賞」であれ、何の賞もとれなくたって、結果発表のあとは子ども達が号泣していました。そこにたどり着く過程に大きな意味があったのです。合唱の取組は、本当に価値があると思います。一つの目標に向かって、努力を積み重ねていく過程。そして、一人で黙々と練習する伴奏者や指揮者の思いを察したり、仲間のために楽譜を見て毎日CDを聴き、練習内容を考えるリーダーの思いを感じたりしながら、周りの子ども達も一生懸命にそのことに応えていく。朝、昼、放課後の時間をみんなで共有し、互いの事を考えながら取り組んでいく中で、多くのことを子ども達は学んでいきます。「頑張ることの素晴らしさ」「協力することの大切さ」「積み重ねの大切さ」「相手を思いやることの素晴らしさ」「合唱の素晴らしさ、音楽の素晴らしさ」など、たくさんのことを学ぶのです。そうやって、学級がまとまり、学年がまとまり、学校もさらに素晴らしくなります。

昨年度の御陵中の合唱コンクールでも、一生懸命に歌う子ども達の姿に私は何度も涙が溢れそうになりました。子ども達の「心」が伝わってくるのです。素直でまっすぐで、優しく、そして一生懸命な子ども達の姿、透き通った歌声は、私たちの心を揺さぶります。じーんとくるのです。子ども達素敵だなあ、子ども達かわいいなあ、御陵中の子ども達、本当に素晴らしいなあと思うのです。閉会式で、目に涙をいっぱいにためている子ども達を見ながら、この素晴らしい2年生・1年生が、来年3年生・2年生になってどんなに素敵な合唱をしてくれるのか、また来年も楽しみだなと思ったのを覚えています。ですから、体育祭だけでなく合唱コンクールまでも中止になったことは本当に残念で仕方ありません。

御陵中の先生方も教育委員会の方々も、実施する方向でこれまで一生懸命知恵を振り絞って考えてきました。しかし、感染リスクの高い「歌う」ということを毎日続けていくことは非常に危険であると判断しました。何より、子ども達そして、ご家族の命や健康を守ることを考えたときには、この段階で中止と判断するしかありませんでした。まさに苦渋の決断です。

それでも、ここで落ち込んでいるようではいけません。御陵中の子ども達は毎日の授業の中で、部活動の中で、委員会活動や様々な活動の中で本当に前向きに頑張っています。私たちも、この状況の中でできることをこれからもしっかりと考え、子ども達と共に精一杯取り組んでいきたいと思えます！



◆保護者の皆様・地域の皆様へ 御陵中ホームページをいつもご覧いただきありがとうございます。アクセス数は昨年以上に増え、ここ10日間の平均アクセス数は500を超えています。生徒数331名の小規模校ではありますが、市内一の平均アクセス数です。先月末より「校長のひとりごと」も掲載しております。これからも、より多くの情報を更新してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。